



ぜんいん しゅうがくりょこう だいせいこう

全員そろっての修学旅行、大成功！

昨年度の修学旅行は、コロナ禍のため11月に延期しての修学旅行となりましたが、本年度は、6月14・15日に長崎への修学旅行に無事に行くことができました。6年担任の手柴先生には、「一人でも欠席の修学旅行はしたくないですね。全員そろっての修学旅行にしましょう。」と話していただけたら、本当に全員そろって行くことができよかったです。(6年生だけは、自主的にパーテーションをつけ続けてくれました。保護者の皆様もお子さんのために感染症予防に努めていただきありがとうございます。)

一日目は、小雨が降ったり止んだりする生憎の天気でしたが、本降りとならずに午後からのフィールドワークも行うことができました。午前中に原爆資料館見学、被爆者・小峰秀隆さんの講話、爆心地公園見学、昼食後、浦上地区のフィールドワークを行いました。原爆資料館では子どもたちは、熱心にメモを取り、1時間ほどの見学時間が足りないほどでした。被爆体験者小峰さんの講話では、4歳で被爆し、肉親を原爆病で亡くされたこと、自らの話したくない被差別の体験を話してくださいました。そして子どもたちに「やろうと思えば、何でもできる」という力強い言葉をいただきました。1時間ほどの講話中、真剣に耳を傾け、感想を返す子どもたちの姿もとてもすばらしかったです。



原爆資料館見学



平和祈念像前で記念撮影



山里小学校見学

その後、平和記念公園で平和集会を行い、平和の誓い・「折り鶴」の歌声、全校児童で折った千羽鶴を捧げました。午後からは、山里小学校の防空壕・如己堂・永井隆記念館～を歩いて回りました。その見学地でも、熱心にメモを取る子どもたちの姿がありました。

お楽しみのホテルでは、みんなで食べる食事・部屋での友だちとの語りい…どの時間も子どもたちの笑顔が溢れていました。



眼鏡橋のハートストーン前で



出島資料館見学

二日目は、長崎の歴史・文化の学習、江戸時代に始まった鎖国・キリスト教弾圧・出島やグラバー園での外国との交易の様子など、お腹一杯見学をしました。子どもたちの班ごとに友だちに声をかけ合う姿に、今まで制限された生活での我慢から、解放された喜びを満喫しているようでした。

2日間の修学旅行が無事に終わることができたのは、担任の手柴先生の周到な準備はもちろん、保護者の皆様のご協力があったことだと思っております。6年生には、2日間で学んだことをこれからの生活や8月の平和集会で発信してほしいです。



大浦天主堂前で記念撮影

プール開き 3年ぶりの水泳学習

待ちに待ったプール開き。コロナのために2年間プールでの学習ができなかったので、3年生までは、初めての水泳学習になります。この水泳の学習では、コロナ感染症防止対策に加え、水の事故防止対策を十分に行っての学習になります。

- ・健康カードの提出を徹底する。(保護者のサイン・検温結果の記入がないと泳げません)
- ・3年生以上は、男子は体育館で、女子は学年ごとに男女更衣室に分けて着替える。
- ・プール内でも子ども同士の接触する活動は行わない。
- ・ひとつ下の学年の学習内容・活動から始める。
- ・必ず指導者の他に監視者を配置する。

たいへん窮屈に思われるかもしれませんが、安心・安全のための対応であることをご理解ください。

さて、子どもたちは、久しぶりの水の感覚に喜々として活動していました。短い期間の水泳学習ですが、少しでも水に慣れ親しみ、楽に長く速く泳げるように取り組んで欲しいです。



プール開きの様子 (左から低・中・高学年)